

### 宮教大キャリアセンターがオンライン就職支援

宮城教育大学では、新型コロナウイルス感染症対策で学生が通学できないことから、キャリアサポートセンターがオンラインによる学生の就職支援を行っている。

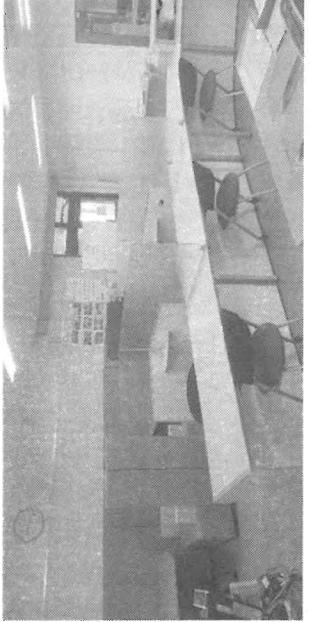
同大では、学校教員などを専任する学生への就職支援を行うキャリアサポートセンターを設置している。今年3月にはセンターの機能を強化するために施設を整備。これまでの1室から3室に拡張し、教員採用試験関係の資料を自由に閲覧できるスペースと、落ち着いて個人面談ができるスペースを設け、就職指導に活用できる大画面ディスプレイなども配置した。

現在は新型コロナウイルス感染症対策により学生が登校できない状況ではあるが、平常時の対面指導に代えて資料などの郵送、メールや電話による就職指導を行っており、また同時双方向のオンライン個人面談や集団面接練習を実施している。

さらに、就職指導特任教員が作成した教員採用試験合格のコツを伝授する教本の動画を、インターネット上に公開した。オンライン集団面接練習を行う学生の中には聴覚障害のある学生もあり、音声文字化ソフトウェアを活用している。

新型コロナウイルス感染症の影響により困難な状況ではあるが、教員採用試験合格率向上を目指して、学生への細やかな指導と試験への不安解消に向けた支援を継続している。

「その時」を待つ新しい個人面談用ブース



### HUSA留学生が事業発表 (広島大)

#### グローバル・リーダーシップ・プログラム

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)留学生(北米・ヨーロッパ・オセアニア・アジア出身)によるグローバル・リーダーシップ・プロジェクト、大学と地域の協働と留学生の自助支援。広島再発見「実践研究グループプロジェクト」第2回中間発表会が、去る5月28日に東広島キャンパスの学生アラザを会場に、オンライン(TEAMS)形式で開催された。

全世界からHUSAプログラムに参加している交換留学生で構成する5グループが、HUSA担当の恒松直美・森戸国際高等教養学  
院准教授による英語と日本語の司会・進行のもと、実践プロジェクトの進行状況について発表。現在、留学生の自助支援プロジェクトの一環として、①西条で暮らすための食事制限ガイド、②広島温泉ガイド、③新型コロナウイルス状況下



セミナーで話したるHUSAプログラム留学生 (2019年12月撮影)



発表について質問する留学生 (2019年12月撮影)

での生活上などの研究プロジェクトに取り組んでいる。発表会は地域公開として開催され、学内の教員・大学院生・留学生・日本人学生・地域行政関係者からも貴重なフィードバックが行われ、大学と地域の協働についても多くの示唆を得ることができた。グローバル化支援インターンシップ「受講生は、今年2月に開催された「倉橋フェスティバル」での国際交流実践プロジェクトに関する実習報告を行った。多くの関係者の支援を得つつ進展しており、今後の展開が期待される。

